



福岡北九州高速道路公社 将来ビジョン

～都市高速道路サービスを介して、
より心地良い都市生活を支え続ける～

2026(令和8)年5月

福岡北九州高速道路公社



目次

| | |
|-------------------------|----|
| ◆はじめに | 1 |
| 理事長メッセージ | |
| ◆基本理念と経営理念 | 2 |
| 将来ビジョンの位置付け | |
| ◆将来ビジョン(在りたい姿) | 3 |
| より心地良い都市生活を支え続けるための行動指針 | |
| ◆都市高速道路を取り巻く課題 | 5 |
| ◆将来ビジョンの実現に向けた取組み | 8 |
| ◆終わりに | 9 |
| 参考)現在の取組み | 10 |
| 災害対応力の強化 | |
| 確実・効率的な維持管理 | |
| ネットワークの機能向上・強化 | |
| カーボンニュートラルの実現に貢献 | |

はじめに

理事長メッセージ

「あって当たり前」のものとなった都市高速が
これからも「当たり前」で在り続けるために、
災害に強いネットワークを確保しながら
福岡・北九州都市圏の発展に貢献します。



理事長 荒瀬 美和

福岡北九州高速道路公社（以下「公社」という）は、福岡・北九州の両都市圏における都市高速道路の建設・管理を目的として、福岡県、福岡市及び北九州市により、昭和46年11月に設立されました。以来、両都市圏の道路網の骨格として、市街地部の交通渋滞を緩和し、道路交通の円滑化に寄与しています。さらに、九州自動車道などの広域的な高速道路ネットワークとも接続し、都市圏内外の人とモノの交流拡大を通じて、地域経済の発展や生活の向上に大きな効果をもたらしてきました。

このような中、公社は、平成26年に「基本理念」とその実現に向けた「経営理念」を定めることで進むべき方向性を明示し、事業を行ってまいりました。これらは全役職員が共有している最も重要な指標です。

公社職員が日々向き合っているのは、都市高速道路という構造物や関係機関との協議、監視システムの画面であると同時に、その先にある「人々の生活」そのものです。私たちが支えているのは、都市高速道路を介した家族との時間であったり、経済を動かす物流であったり、この街の何気ない日常にほかなりません。

職員一人ひとりが「何のために私たちは働くのか」という問いに対し、自らの言葉で答えを持つこと。そして、自らの研鑽や判断が、いかにして両都市圏の日常と未来に繋がっているのかを実感すること。その積み重ねこそが、都市高速道路のプロフェッショナルとしての自負を育み、組織をより良くしていく原動力になると考えています。

理念という大きな目的を、より具体的な行動に落とし込んでいくためには、私たちが目指すべき姿を役職員全員で共有し、同じ方向を見て進んでいくためのビジョンが必要です。

社会や環境が激変する今、公社の使命を改めて問い直し、職員が自身の仕事に誇りを持って主体的に取り組んでいくための指針として、このたび「将来ビジョン（以下、本ビジョンという）～都市高速道路サービスを介して、より心地良い都市生活を支え続ける～」を策定いたしました。

基本理念と経営理念

公社では、公社の使命を明確にするため、「基本理念」を制定するとともに、この基本理念を実現するため、お客様第一をはじめとする経営の基本方針である「経営理念」を定めています。

基本理念

福岡・北九州両都市圏における安全・円滑な都市高速道路ネットワークを運営することにより、都市圏内外の人と物の交流を促進し、経済の発展、環境の改善及び生活の向上に貢献します。

経営理念 -基本理念を実現するための経営の基本方針-

お客様第一

お客様に満足いただける、安全・安心・円滑な質の高い都市高速道路サービスを提供します。

社会的責任

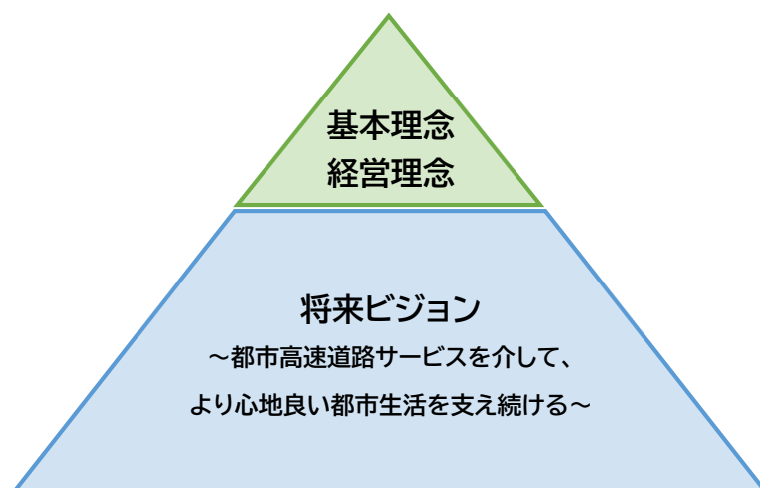
高い倫理観を持ち、都市高速道路の専門家集団としての総合力を発揮して、お客様や地域の皆様に信頼される組織を目指します。

安定した経営

健全かつ効率的な経営により、将来にわたり良好な都市高速道路サービスを提供します。

将来ビジョンの位置付け

本ビジョンは、基本理念・経営理念を上位思想とし、公社の将来を見据えた長期的な視点で、在りたい姿と課題、本ビジョンの実現に向けた取組みについてとりまとめました。



将来ビジョン(在りたい姿)

「都市高速道路サービスを介して、より心地良い都市生活を支え続ける」

将来ビジョンに込めた思い

私たちは都市高速道路の事業を介して何を提供しているのだろうか？

定時性・速達性・安全な移動を提供していると整理されるが、それだけだろうか？

- ・快適で充実した高速道路ネットワークを提供し、お客様の利便性を向上したい
- ・災害時にも人流や物流を止めず道路としての役割を果たすことで、人々の生活と安心を守りたい
- ・路面の凹凸を低減し、誰もが心地よく走行できる快適な道路空間を提供したい
- ・一人一人に寄り添う誠実なコミュニケーションで、お客様の不安を解消し笑顔にしたい
- ・わかりやすい道路案内や情報提供で、お客様に快適に走行していただきたい
- ・通院時や急患時に病院までの時間を短縮するとともに、信号による加減速を減らすことで患者の負担を和らげ医療従事者の一助となりたい
- ・都市中心部の通過交通を減らし、街路等を快適に使えるようにしたい
- ・都心部の排気ガスを減らして、澄んだ空気を提供するお手伝いをしたい
- ・都市高速道路を整備（延伸）した地域の人口や施設が増えることで、都市に新たな賑わいを生み出すお手伝いをしたい
- ・お客様の通勤時間やドライバーの方々の運送時間の負担を減らし、皆様のゆとりを創出したい
- ・地域のお客様以外にも使っていただきやすい都市高速道路を目指し、国内外からビジネスや観光で来られる方々の円滑な移動の支えとなりたい
- ・いつでも新鮮な食材が並ぶスーパーやいつでも欲しいものがネットを介して届く配達（ECサイト）を下支えしたい
- ・円滑な都市高速道路サービスによって、産業界の皆様を下支えしたい

他にも沢山の「何か」を支えたいと思っている。

これら「何か」を一言で表すと「心地よい都市生活」と言い表せるのではないか。

私たちは、都市高速道路サービスを提供するだけでなく、その先にある「心地よい都市生活」そのものを支えていきたい。

そして、この「心地よさ」をこれからも変わらずに維持し続け、今よりももっと良いものへと高めていきたい。

そんな思いを本ビジョンに込めました。

より心地良い都市生活を支え続けるための行動指針

私たちは、本ビジョンに込めた思いを持って事業活動に取り組むことで、基本理念である都市圏内外の人と物の交流を促進し、経済の発展、環境の改善及び生活の向上に貢献します。

そのために、日々の業務においては、次の指針に基づき行動します。

経営理念:お客様第一

お客様に満足いただける、安全・安心・円滑な質の高い都市高速道路サービスを提供します。

行動指針① お客様の声に耳を傾け、お客様の視点で考え、行動します。

行動指針② お客様のために一丸となり、部署を超えて連携します。

行動指針③ 変化するニーズに対応するため、新たな可能性に挑戦します。

経営理念:社会的責任

高い倫理観を持ち、都市高速道路の専門家集団としての総合力を発揮して、お客様や地域の皆様に信頼される組織を目指します。

行動指針④ 「内部統制の基本方針」を遵守します。

行動指針⑤ 知識や技術の習得に励み、組織力向上を図ります。

行動指針⑥ 誠意を持って行動し、皆様との信頼を築きます。

経営理念:安定した経営

健全かつ効率的な経営により、将来にわたり良好な都市高速道路サービスを提供します。

行動指針⑦ 良識を持ち、業務の効率化と改善に取り組みます。

行動指針⑧ 仲間を大切に、心理的安全性の高い職場づくりに努めます。

行動指針⑨ 都市高速道路の将来を担う次世代の育成に尽力します。

都市高速道路を取り巻く課題

私たちの管理する福岡高速道路（以下「福岡高速」という）・北九州高速道路（以下「北九州高速」という）は、福岡・北九州都市圏及び周辺地域の暮らしや経済を支える大切な道路です。

今後も地域の皆様が心地良い都市生活を享受するために、**5つの課題**に向き合います。

課題① 自然災害の激甚化・頻発化

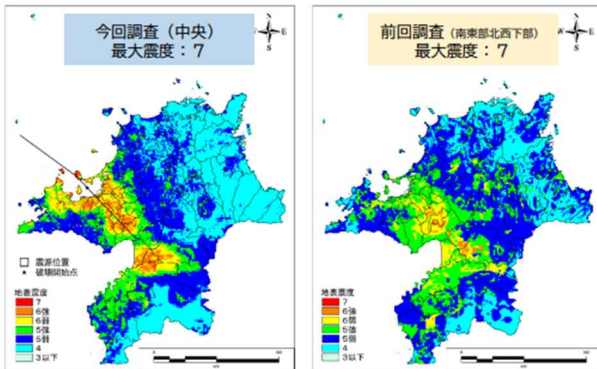
近年、毎年のように全国各地で地震災害や水災害、火山災害等あらゆる自然災害が頻発し、甚大な被害が発生しており、今後も気候変動の影響によって水災害の更なる激甚化・頻発化が懸念されています。^{※1}

福岡県では、平成29年の九州北部豪雨以降、平成30年7月豪雨、令和元年7月、8月の大雨、令和2年7月豪雨、そして令和3年8月の大雨と、5年連続で自然災害に見舞われており、全国で唯一「大雨特別警報」が5年連続で発表されました。^{※2}

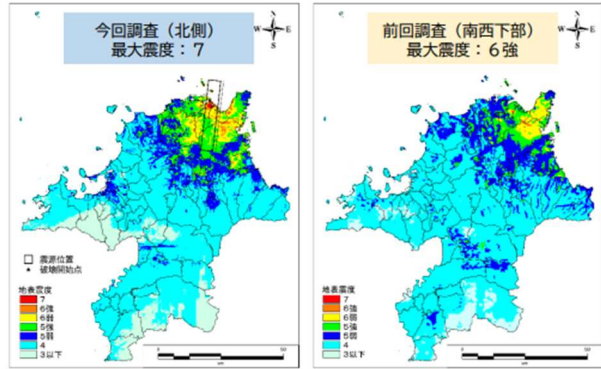
また、福岡県の地震に関する防災アセスメント調査報告書によると、最新の調査（令和7年度）では地震による最大の被害想定が更新され、前回の調査（平成23年度）よりも最大震度が大きくなるかつ最大震度となる地域が拡大する傾向となりました。

このように環境が変化する中、福岡高速・北九州高速は両都市圏の基幹インフラとして、大規模地震、豪雨等の自然災害に強い道路ネットワークとしての役割が求められています。

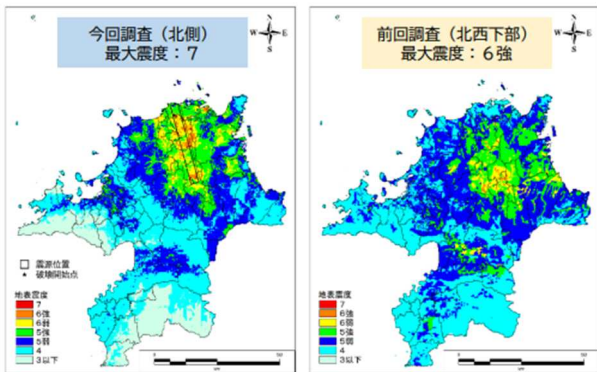
警固断層帯連動



小倉東断層



福智山断層帯



出典 福岡県 地震に関する防災アセスメント調査報告書(令和7年9月)

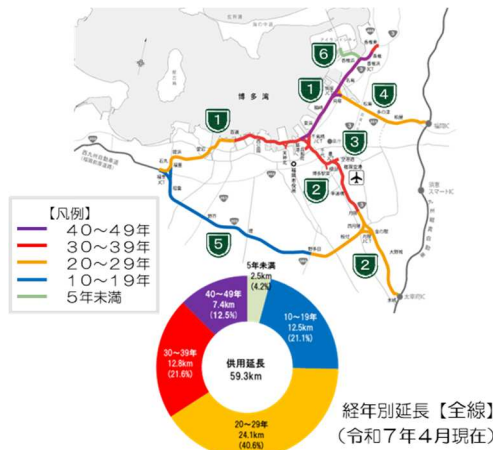
地震による被害想定結果

課題② インフラの老朽化

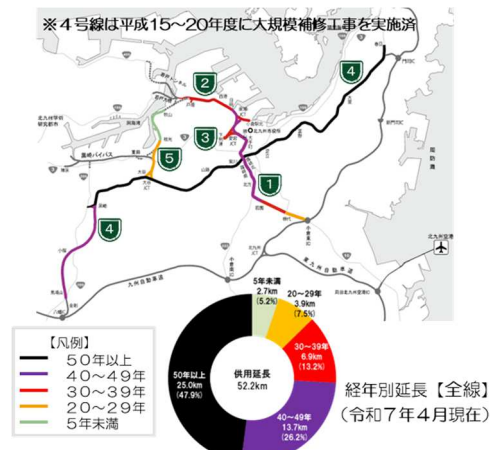
インフラは、防災・減災に重要な役割を果たし、地域の皆様の安全・安心や社会経済活動の基盤となるものです。日本のインフラは、その多くが高度経済成長期以降に整備されており、今後、建設から50年以上経過する施設の割合が加速的に進行します。※1

このため、インフラの維持管理・更新を計画的に進めていく必要があります。

福岡高速・北九州高速では、供用から30年以上経過した路線や交通量の増加に伴い、橋梁などの老朽化が進んでいます。インフラの老朽化には定期的なメンテナンスが必要であり、都市高速道路が存続し続けるうえで永続的に取り組まなければならない課題です。



福岡高速の経年別延長



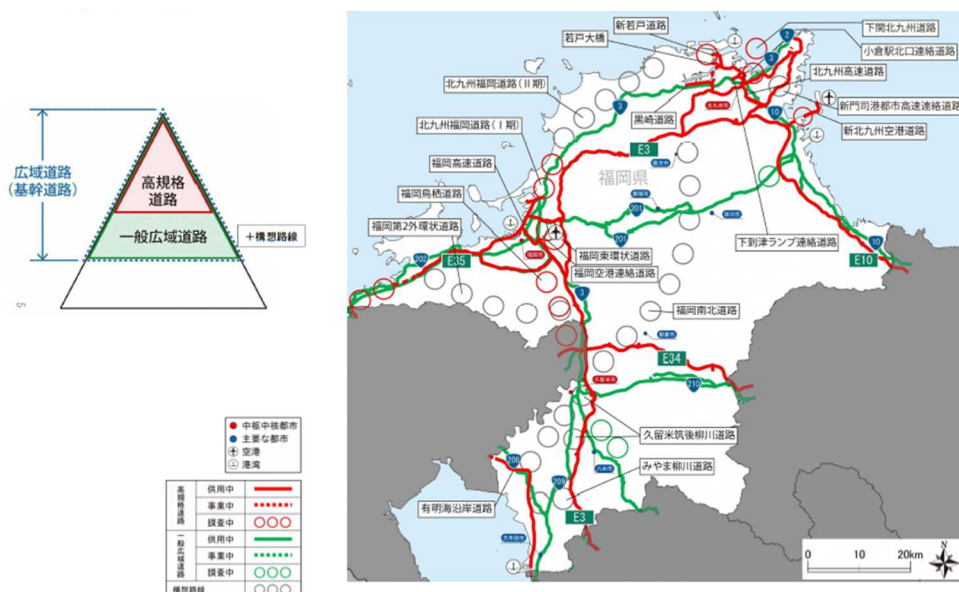
北九州高速の経年別延長

課題③ ネットワークの連携強化

人流・物流の循環を更に活性化するためには、高規格幹線道路から日常生活道路までを階層的に整理し、道路の機能を十分に発揮できる交通網の連携強化を図ることが必要となります。※3

道路の機能を十分に発揮させ、人流・物流を確保するため、高規格幹線道路の整備、ミッシングリンクの解消、暫定2車線区間の4車線化、環状機能の強化等が推進される中で、福岡高速・北九州高速も「広域道路ネットワーク路線※4」の一部としてネットワークの最適化への貢献が求められます。

また、構想路線についてもその動向を注視し、福岡県、さらには九州全体の活性化を目指し、都市高速道路ネットワークの在り方を検討し続けたいと考えます。



出典 福岡県・福岡市・北九州市 福岡県新広域道路交通ビジョン
広域道路ネットワーク計画図

課題④ 渋滞の増加

都市の成長が進む中で増え続ける交通需要は、既存の道路網に深刻な負荷を与え、常態化する交通渋滞を引き起こしています。これは物流の遅延や移動時間の増大といった多大な社会的・経済的損失を招くだけでなく、環境問題、経済効率の低下を引き起こしています。

特に福岡高速においては、コロナ禍以降の交通量の回復・増加に伴い、渋滞発生が増えています。こうした交通流動の停滞を解消し、円滑性を確保することは、都市の活力を維持・増進するための喫緊の課題です。



渋滞の様子

課題⑤ カーボンニュートラルの実現

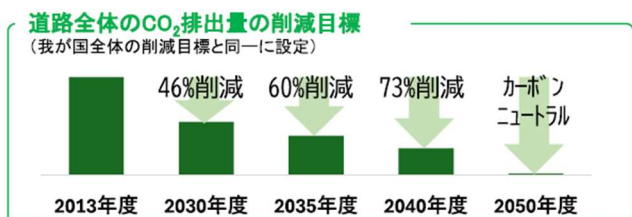
日本は、令和2年10月に2050年カーボンニュートラル（ネット・ゼロ）を宣言し、令和3年4月に令和12（2030）年度においてGHG排出量の46%削減（平成25（2013）年度比）を目指すこと、さらに50%の高みに向けて挑戦を続けることを表明しました。^{※5}

道路分野においては、令和7年度に、国の道路脱炭素化基本方針に基づき道路管理者が道路脱炭素化推進計画を策定する枠組みが導入されたことを受け、公社としても脱炭素化に向けた取組みを計画・推進していく必要があります。

1 道路の脱炭素化の推進の意義

- 地球温暖化に伴う気候変動の影響により、自然災害の激甚化・頻発化等が懸念
- 我が国全体の目標や対策が強化（地球温暖化対策計画）
- 道路は国内CO₂排出量の約18%を占めており、道路施策の目標設定の具体化や施策内容の拡充など取組強化が必要

2 道路の脱炭素化の推進の目標



出典 国土交通省 道路脱炭素化基本方針(概要版)

道路の脱炭素化の推進の意義及び目標

※1 国土交通省 国土交通白書 2025

※2 福岡県 令和5年度県土整備行政の概要

※3 福岡県・福岡市・北九州市 福岡県新広域道路交通ビジョン（令和3年6月）

※4 「広域道路ネットワーク路線」は、既存の広域道路（基幹道路）に、指定された構想路線を加えたもの
福岡県・福岡市・北九州市 福岡県新広域道路交通計画（令和3年6月）

※5 経済産業省 エネルギー白書 2025

将来ビジョンの実現に向けた取組み

「都市高速道路サービスを介して、より心地良い都市生活を支え続ける」

その実現のために、基本理念・経営理念と都市高速道路を取り巻く課題を踏まえて**3つの柱**を掲げ、事業活動に取り組みます。

お客様に安心して都市高速道路をご利用いただけるよう、

- ◆日々の確実な点検・維持補修に取り組むとともに、DX等により維持管理の効率化や高度化を図ります
- ◆老朽化が進むインフラを健全に保ち長寿命化を目指すため、大規模な修繕等に積極的に取り組みます
- ◆交通事故削減に向け、引き続き事故対策を推進します
- ◆災害発生時の道路ネットワークの機能を確保するため、災害対応力を強化します

確実・効率的な維持管理
老朽化対策等の推進
交通安全対策の推進
危機管理の強化

お客様に便利で快適な都市高速道路をご利用いただくため、

- ◆新たなネットワーク機能の強化に向けた事業を推進し、利便性向上に努めます
- ◆円滑な交通の確保に向けて渋滞対策に取り組むとともに、多様な手段で質の高い情報を提供することでお客様満足度の向上を図ります

安全・安心な
都市高速

3つの柱

便利で快適な
都市高速

信頼される
都市高速

お客様をはじめ地域の皆様から信頼される都市高速道路を目指し、

- ◆コンプライアンスの確立、確実な償還の推進等により、安定した経営を図ります
- ◆カーボンニュートラルの実現に貢献するために、省エネルギー化等を通じて環境負荷低減に取り組みます

ネットワークの機能向上・強化
円滑な交通の確保
お客様満足度の向上

コンプライアンスの確立
確実な償還の推進
入札の透明性・公正性の向上
工事等の品質確保の促進と安全管理
組織・情報基盤の強化
環境負荷低減の取組

終わりに

本ビジョン「将来ビジョン～都市高速道路サービスを介して、より心地良い都市生活を支え続ける～」は、目まぐるしく変化する社会において、公社及び福岡・北九州の両都市高速道路がこれからも真に必要とされる存在であり続けるための「志」を言語化し、合言葉として整理したものです。

私たちが日々向き合っている業務の先には、常にこの街に暮らす人々の生活があります。渋滞のない道が誰かの大切な時間を創出し、強靱な道路ネットワークが万が一の際の安心を支えます。

カーボンニュートラルの実現という大きな挑戦も、すべてはこの街に住む未来の皆様が、今と変わらない、あるいは今以上の「心地良い都市生活」を享受できるようにするためのものです。

本ビジョンの実現において最も重要なものは、現場や事務室で日々奮闘する職員一人ひとりの力です。「自分たちの仕事がこの街の日常を守り、未来を創っている」という自負を元に、従来の枠組みにとらわれず、主体的に考え、行動すること。その一步一步が、公社及び都市圏の未来を創っていく原動力となります。

公社は設立から半世紀を超えました。私たちは先人たちが築き上げてきた功績と信頼のバトンを次世代へと繋ぎ、福岡・北九州両都市圏がさらに活気に満ち、誰もが心地よく暮らせる都市へと継続して成長を遂げられるよう都市高速道路を支え続けます。この使命を果たす過程で、私たち職員自身もまた、やりがいと誇りを持って都市と共に成長を続けていきます。

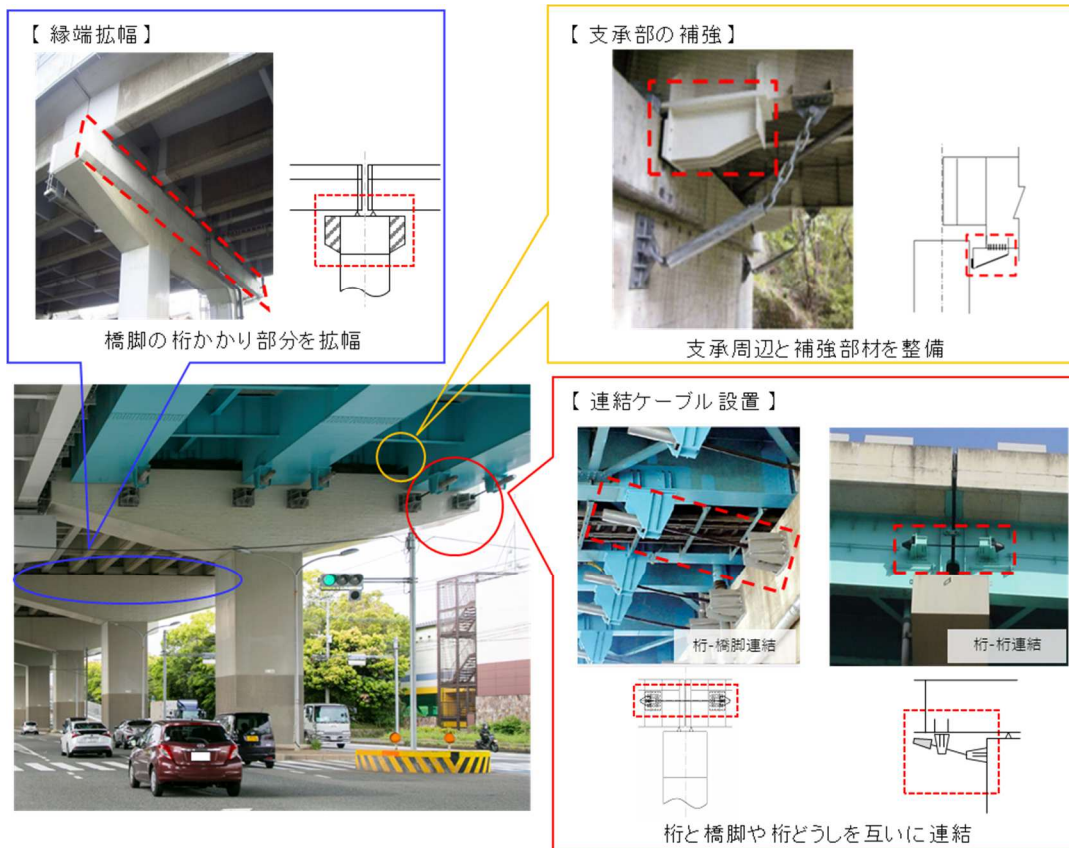
私たちは、都市高速道路の専門家集団として、本ビジョンの掲げる未来の実現に向け、全役職員が一丸となってこれからも挑戦を続けます。

参考)現在の取組み

災害対応力の強化

福岡高速・北九州高速は、緊急輸送道路に指定されており、大規模地震の発生直後から、被災地の災害応急対策に従事する者または災害応急対策に必要な物資の輸送、その他応急措置を実施するための緊急輸送を確保するために必要な道路の一部を担っています。

緊急輸送道路としての役割を果たし、大規模地震発生時の救急救命・復旧活動を支えるために、**北九州高速**では、兵庫県南部地震や熊本地震と同程度の地震でも速やかな機能回復が可能な水準の**耐震補強事業**を実施しています。大規模修繕事業の実施と合わせて1～3号線の対策を行うとともに、4号線についても順次対策を進めます。**福岡高速**では、平成9年度までに下部工、平成20年度までに上部工の耐震補強工事により概成しており、一部の出入口の更なる耐震補強対策について、検討・実施します。



耐震補強工事のイメージ

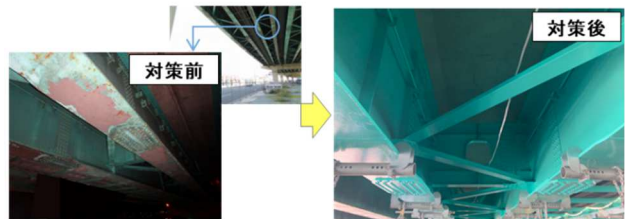
また、大規模な災害発生時に復旧対応を迅速化するため、関係機関である九州地方整備局、都市高速道路4団体、民間9団体と協定を締結しています。協定を踏まえ、災害時の連絡体制や役割分担の確認など、平常時から関係機関との連携を図り、災害発生に備えています。

確実・効率的な維持管理

福岡高速は、供用から30年以上経過した路線及び交通量が増加しています。そのため、車両の繰り返し走行やコンクリート中への塩分の浸透等により、劣化・損傷が顕在化しています。

このことから、お客様への安全・安心・快適な走行環境の提供や道路の長寿命化を目的に、**老朽化・予防保全対策事業**を実施しています。老朽化対策は、顕在化している損傷を補修することで、構造物の健全性の向上を図ります。予防保全対策は、損傷が軽微な段階であらかじめ補修を講じることで、新たな損傷の発生を抑制し将来の維持管理コストの低減を図ります。

■ 塗装塗替



■ 恒久足場の設置

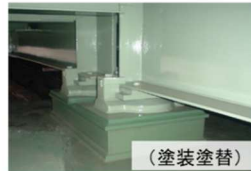


恒久足場による点検・補修の効率化
対策の状況(福岡高速)

■ 床版補修、床版防水の施工



■ 鋼製桁の塗装塗替



■ 交通管制センターの更新



対策の状況(北九州高速)

北九州高速1～3号線は、9割以上が供用から30年以上経過しています。そのため、長年の車両の繰り返し走行やコンクリート中への塩分の浸透等により、劣化・損傷が顕在化しています。

このことから、お客様への安全・安心・快適な走行環境の提供や道路の長寿命化を目的に、**大規模修繕事業**を実施しています。メンテナンスサイクルの取組を確実に実施しながら、顕在化している損傷個所の補修を行うことで、構造物の健全性の向上や長寿命化、安全性の向上を図り、適切な維持管理を行っています。

また、公社では、インフラの適切な維持管理を目的に、公社が管理する施設に対して維持管理の方向性を示す基本的な計画として「インフラ長寿命化計画(行動計画)」を、個別施設毎の具体的な対策方針、点検・補修計画として「インフラ長寿命化計画(個別施設計画)」を策定しています。

この2つの計画に基づき、福岡高速、北九州高速の全区間において道路構造物の損傷度を詳細に把握する定期点検を5年に1度実施し、確実かつ効率的なメンテナンスサイクルを構築することにより、道路構造物の安全性の確保に努めています。

ネットワークの機能向上・強化

福岡高速は、福岡都市圏の道路交通の円滑化により、都市圏内外の人と物の交流を促進し、経済の発展、環境の改善及び生活の向上に貢献しています。

これまでの整備で、放射環状型の道路交通網を形成し、市街地の渋滞緩和のみならず、九州自動車道や西九州自動車道と接続すること等により北九州方面や佐賀方面、熊本方面とのアクセス向上にも大きく寄与しています。



また、福岡空港は、充実した国内線ネットワークとアジア地域を中心とした国際線ネットワークを有し、九州・西日本の拠点空港として、国内外との交流を支えています。福岡空港の機能強化が進められている中、今後も更なる利用者数の増加が見込まれています。

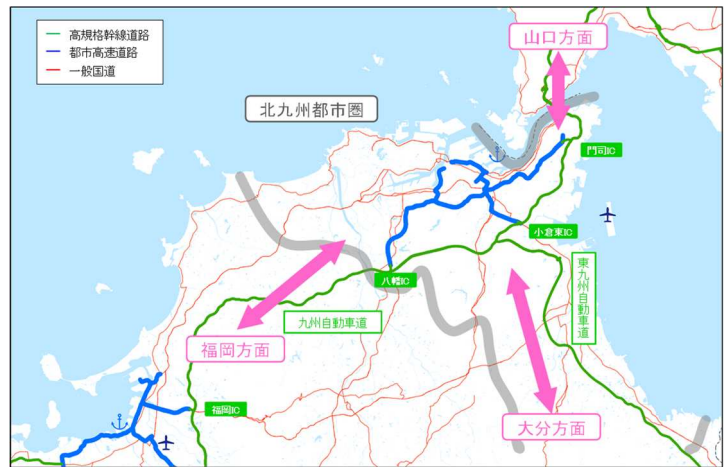
こうした中、福岡空港へのアクセス手段の約4割を占める自動車交通の円滑化が重要となっています。現状、福岡市南部地域や太宰府 IC 方面から福岡空港国内線旅客ターミナルへは「空港通」出入口を利用することができません。一方、天神や香椎方面から福岡空港国内線旅客ターミナルへは「空港通」出入口を利用できますが、主要渋滞箇所である空港口交差点を通過し、一般道を約2km走行しなければならない状況です。

このことから、**福岡高速3号線（空港線）延伸事業**により、福岡市南部地域や太宰府 IC 方面からの国内線旅客ターミナルへのアクセス強化と、空港口交差点をはじめとする福岡空港周辺道路の混雑緩和を図ります。



北九州高速は、北九州都市圏における放射環状道路網の中心を担う自動車専用道路です。

市街地の渋滞緩和とともに、九州自動車道等と接続することにより、福岡方面や大分方面、山口方面とのアクセス向上にも大きく寄与しています。

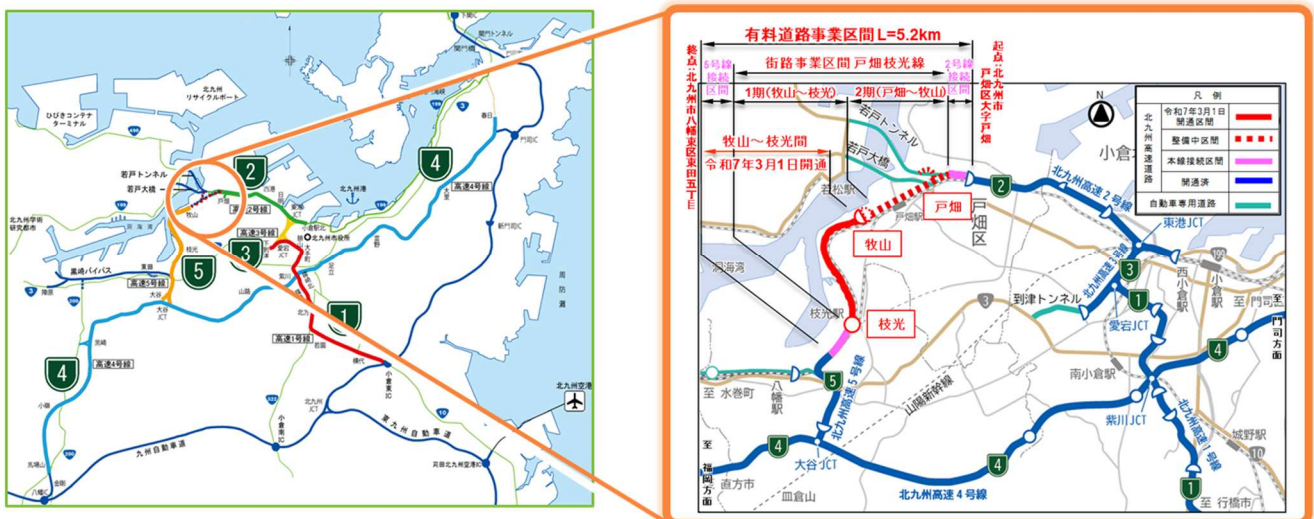


製造業が盛んである北九州市では、製造拠点等が高速道路や港周辺に点在していますが、製造拠点と交通拠点をつなぐ環状高速道路のうち、戸畑牧山区間が唯一のミッシングリンク※¹となっており、周辺的一般道は朝・夕の渋滞が多く発生しています。

このことから、北九州高速5号線延伸（戸畑枝光線）事業により、放射環状型の自動車専用道路ネットワークを構築し、円滑な物流・人流の支援及び災害に強い強靱なネットワークの形成を図ります。広域道路ネットワークが形成されることで、製造拠点や交通拠点間のアクセス性の向上、物流活動や緊急搬送時等における速達性・定時制の向上、周辺幹線道路の交通混雑の緩和による交通安全性の向上が期待されます。また、環状化により災害発生時のリダンダンシー※²を確保し、道路ネットワークの機能強化を図ります。

※¹ 途中で途切れている未整備区間のこと

※² 一部の区間が自然災害等により途絶されても代替ルートや多重ルートが予め用意されていること

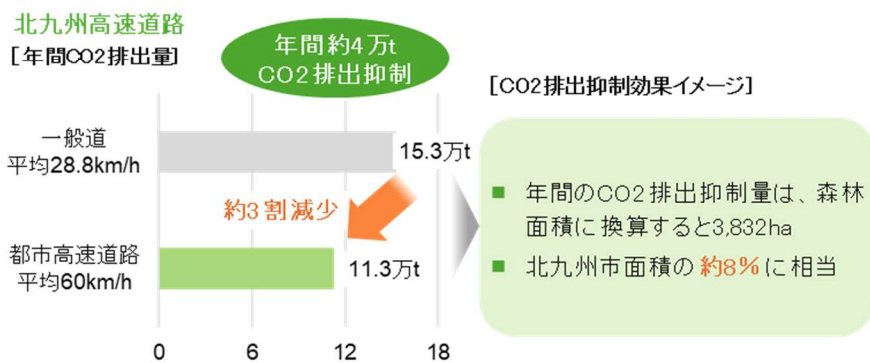
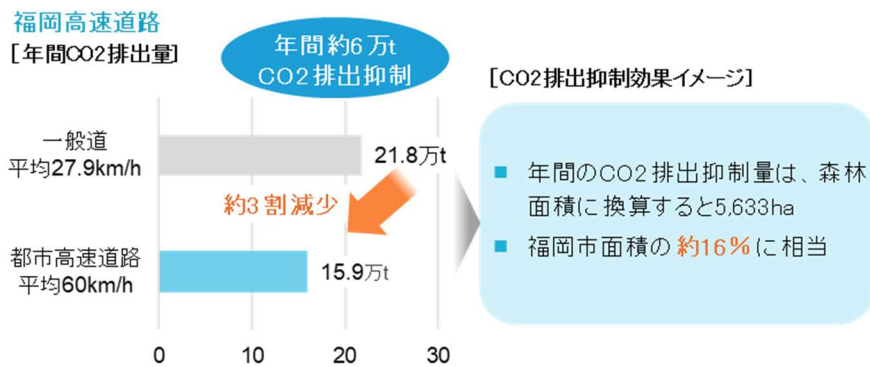


カーボンニュートラル実現に貢献

異常気象を引き起こす要因である地球温暖化に対し、公社では、事業活動に伴う消費電力量を削減するために、道路照明のLED化を進めています。LED照明は、従来の高圧ナトリウム照明と比較して消費電力量を削減できます。さらに、視認性の向上による安全運転への寄与、長寿命、小型・軽量による維持管理費の削減が図れます。



また、都市高速道路を利用することで、一定速度での走行や一般道路の渋滞緩和など、環境負荷の低減に貢献しています。



【根拠資料】
CO2排出係数:「道路環境影響評価等に用いる自動車排出係数の算定根拠(平成22年度版)」(国総研資料第671号)
CO2吸収量:「土地利用、土地利用変化及び林業に関するグッド・プラクティス・ガイダンス(優良手法指針)」による